



# 青き楓

島高だより  
平成25年8月号  
(通巻第89号)  
長崎県立島原高等学校  
編集:情報図書部

校長随想 湧水抄



## 「畏れ」という感情 校長 北浦 剛資

島高生の「S」は「Science」のS。  
「正しく畏れる」ことは教養人としての心得だ。

### ■異常気象の背景にあるもの

この夏は全国的に、「観測史上最高・最長」という猛暑が続き、一方で「これまでに経験したことのないような大雨」により各地に甚大な被害をもたらされた。いわゆる地球温暖化の影響によるものだろうが、そのような状況に至った原因は何か。おそらく我々人間が、身勝手に傍若無人な振る舞いを繰り返してきたからに違いない。欲望を満たすために限りある資源を浪費し、挙げ句にかけがえのない地球が温室効果ガスに覆われ、結果として取り返しのつかない事態に陥った。自然を見くびったせいで、しっぺ返しを食らったようなものだ。人の知恵は万能であるという錯覚からくる傲慢さが、不幸な事態を招いてしまった。

### ■「おそれという感情」

若いころ国語の授業で、唐木順三氏の「おそれという感情」を教材として扱った。以下は要約。

ハヶ岳山麓に大きな泉がある。湧水量は豊かで水質もよい。ところが、夏に訪れたハイカーたちが残した空き缶や焚き火の跡があり、泉の周囲にはジュラルミンの柱を立て有刺鉄線を絡ませている。樹齢何百年の堂々とした老樹に比べて、針金やジュラルミンはいかにも貧相であった。それを必要とさせる人間の所行が醜く軽薄であった。昔の旅人たちは、泉を大切に清潔にし後から来る旅人たちを快く憩わせようとする配慮があった。水の豊かな国土は、同時に水害に見舞われやすい国土である。一方で水に感謝するとともに、他方では水を怖れた。泉の水は窮まることなくどこか神秘的である。だから人々が人知を超えた神聖な場所として畏れ敬い、守り続けてきたのだろう。

自然の神秘的なエネルギーに対して畏敬の念を持ってはじめて、自らの弱さ・卑小ささが自覚でき、より大きな周りの世界を感得できるのではないか。

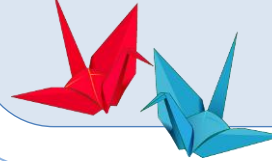
夏休み期間中、剣道部女子がインターハイ団体優勝、男子団体3位など、全国大会で島高生が活躍しました！  
また、北部九州インターハイレスリング競技や「長崎しおかぜ絵文祭」でも本校生徒が補助員として頑張りました。

詳細については、来月「全国大会特別号」を発行します！

## 平和集会

8月9日、長崎原爆の日には全校生徒が集まり、平和学習が行われました。

池上彰さんがナビゲーターを務めるドキュメンタリーを鑑賞し、原爆投下時刻の11時2分に黙祷を捧げ、全校生徒を代表して生徒会執行部が平和宣言を朗読しました。被爆県長崎県民の一人として、被爆された方々および過去の対戦で犠牲にあわれた多数の方々を追悼し、平和の意味を考え直す機会となりました。

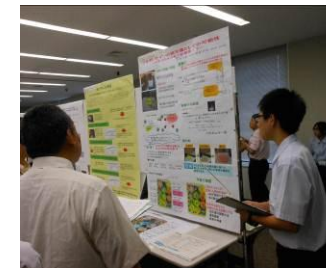


## 中国四国九州理数科課題研究発表大会

数学班 **最優秀賞** 化学班 **優秀賞** 受賞！！

この大会では、中国、四国、九州の代表校が物理、化学、生物、地学、数学の分野についてステージとポスターに分かれて発表し、そのなかから、各部門1校ずつ最優秀賞、優秀賞が選ばれます。8月7日、8日、鹿児島市で行われ、本校理数科三年生が県代表として出場してきました。

化学班はフルオレセインの指示薬としての可能性について発表し、数学班は四次元についての考察を発表しました。高校生らしい発想で探究し、わかりやすく説明していました。



どの学校の発表もすばらしく、生徒たちは発表だけでなく積極的に他の発表も聞き、質問していました。8日に結果発表があり、なんと数学班は数学部門で**最優秀賞**、化学班は化学部門で**優秀賞**を受賞しました。

生徒たちも受賞できたことに感激し、笑顔で島原に戻ってきました。この課題研究で学んだことを将来にいかしてくれることと思います。



# 理数科研修旅行

夏季休業中は、理数科の生徒にとって楽しみな研修旅行があります。日頃、学校では経験できないような実習や講義ばかりで、科学に関する興味関心が更に高くなったようでした。また、自分の将来の進路を決める上でも参考になることがたくさんあり、充実した研修になったようです。

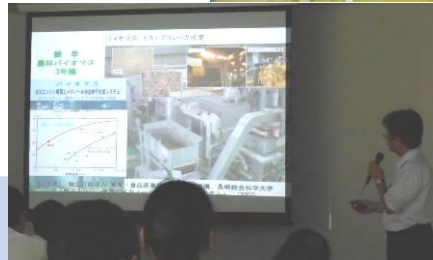
## 長崎総合科学大学 1年理数科

- 「東長崎エコタウン構想」「宇宙工学入門」
- 「船の抵抗試験」「ミクロの世界の算数」
- 「高校数学で作るコンピュータグラフィックス」
- 「臨床工学師に関する育成とその業務・研究」



## 崇城大学 2年理数科

- SILC 見学、ナノサイエンス学科、薬学科、
- 応用微生物工学科、情報学科、
- 空港キャンパス見学



### 【生徒の感想】

○応用微生物工学科の講義を受けて

講座の中で、生物の授業で習った言葉が出てきてとてもなじみ深いと感じた。知らなかった事も多くあり興味を持った。特にタクロリムスという微生物は、臓器移植の際に拒絶反応を抑える役割があるという。微生物によって私たちの生活が豊かになっていることがたくさんあることが良く分かった。

○ナノサイエンス学科の講義を受けて

はじめはナノサイエンスという名前を聞いてどんなことをする所か分からなかったが、化学を基礎とした応用化学の研究をする所だと分かった。ナイロンなどの化学繊維や燃えないカーテンなど新しい素材を開発し、この技術において日本は世界の中でも大きなシェアを誇っている分野であることも分かった。

# 3年生 学習合宿

3学年主任 酒井 太一

今年で32回目となる「雲仙学習合宿」が8月17日(土)から23日(金)までの6泊7日の日程で行われました。今回の合宿では、1日11時間にも及ぶ学習時間を通して、自学自習の態度や習慣を身につけ、集中力と持久力を養うこと。また、集団生活を、自己を再発見する機会とすることで、本当の意味で「受験生」に変わることを目標としました。

「集中力が高まった」「時間がないことがよく分かった」「普段いかに時間を無駄にしているか分かった」「友達の姿に励まされた」「学校でも質問しようと思った」「この経験をムダにしたくない」「合宿に送り出してくれた両親に感謝したい」などの感想が多く、66回生の成長を感じることができる合宿となりました。

2学期を迎え、いよいよ受験が本格化していきます。合宿での経験をステップとして、志望校合格に向けて66回生全員で乗り越えていきましょう。



### 雲仙学習合宿の日課

6:30	起床
6:45~	体操・散歩
7:10~	朝食
8:00~10:00	学習①
10:10~12:10	学習②
12:20~	昼食・休憩
13:20~15:40	Listening+学習③
15:50~17:50	学習④
18:00~19:45	夕食・入浴・休憩
20:00~22:00	学習⑤
20:00~22:20	反省記入
22:30~23:30	学習⑥
23:30~23:50	班長会・就寝準備
24:00	消灯・就寝



62・65回生の先輩から大学のお話やアドバイス



PTAの方、激励ありがとうございました!

## 9月の主な行事予定

1日(日)	青楓祭(文化祭)	20日(金)	学年末考査時間割発表(3年)
2日(月)	代休(9月1日分)		学年PTA(2年)
4日(水)	代休(9月7日分)		進路講演会(2年)
6日(金)	青楓祭(体育祭)予行	21日(土)	土曜講座(全学年)
7日(土)	青楓祭(体育祭)会場設営	23日(月)	秋分の日
8日(日)	青楓祭(体育祭)	24日(火)	中間考査時間割発表(1・2年)
9日(月)	代休(9月8日分)		部活動休止(~10月2日)
10日(火)	大掃除 薬物乱用防止講話		地学講座(理数科1年)
12日(木)	月曜日の授業		国体壮行会(放課後)
14日(土)	九州高校野球県予選(~9月23日)	25日(水)	LHR(読書感想文コンクール)
	進研マーク模試(3年~9月15日)	26日(木)	後期学級役員任命式
16日(月)	敬老の日	28日(土)	国体開会式(東京)
18日(水)	登校指導(~9月20日)		学年末考査(3年 ~10月3日)

# 青楓祭2013

「Voice」  
~届けたい心の声 見つけたい新しい自分~

### ○文化祭 9月1日(日)

9時40分から15時50分まで島原文化会館にて開催されます。放送部、茶道部、文芸部、管弦学、合唱部、語学部や理数科の大ホールでのステージ発表はもちろん、放送部、美術部、写真部、理学部、文芸部、家庭クラブ、美術科、PTAの展示も行います。また、島高音楽祭で4つのグループが発表を行います。こちらも必見です!



### ○体育祭 9月9日(日)

9:00~15:30 本校グラウンド